

# 漁業者との意見交換を踏まえた アンケートの様式について

## 目次

頁

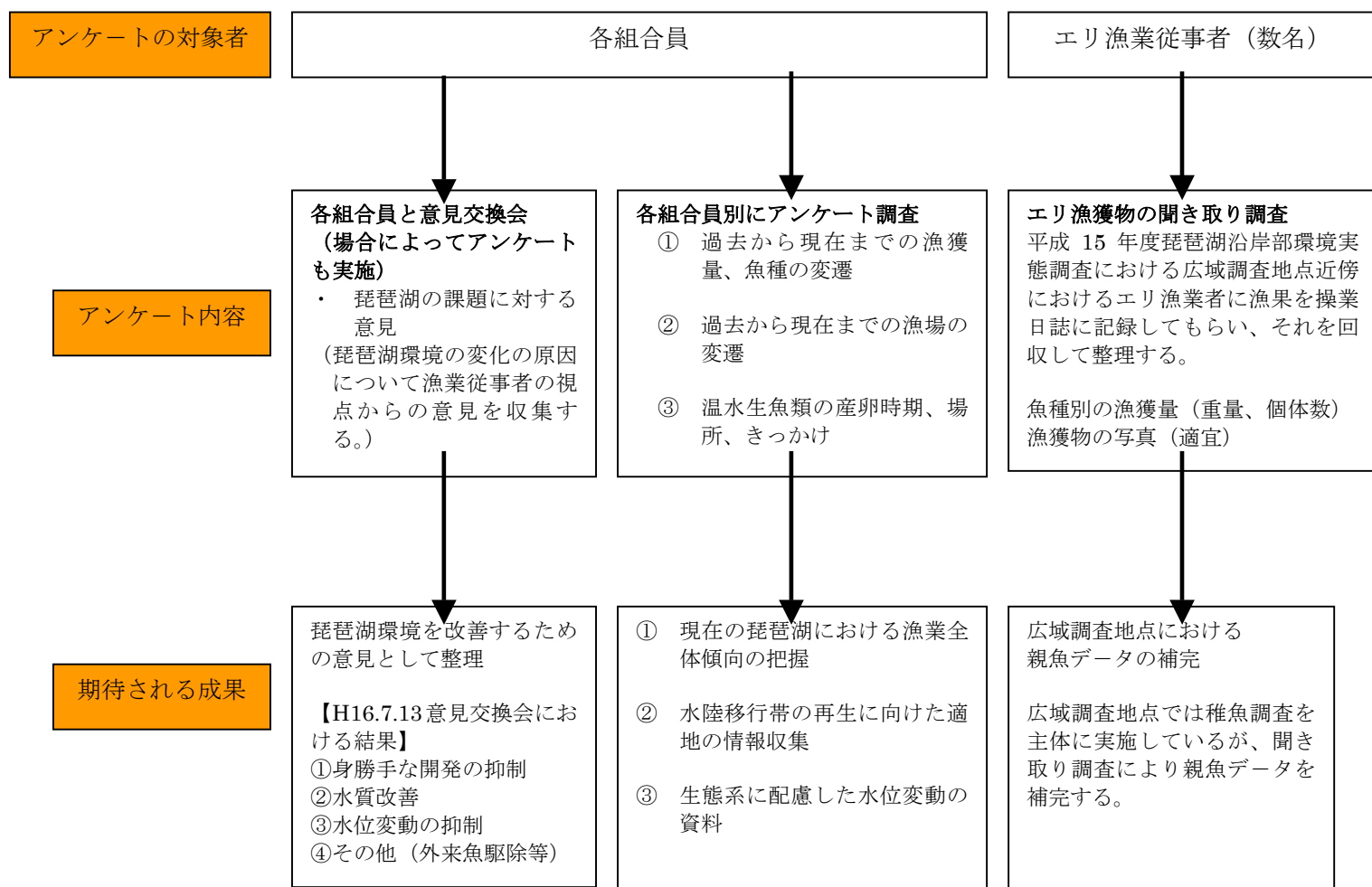
琵琶湖漁業に関する情報の集約方法について	1
琵琶湖環境を改善するための意見交換会	6
対話集会レジメ	17
琵琶湖のいいところ、琵琶湖の悪いところ	18



琵琶湖漁業に関する情報の集約方法について

・ 漁業従事者の方がお持ちになる情報を集約する理由

近年、琵琶湖の環境は大きく変化していると言われます。また、魚類相も大きく変化（固有種の減少、外来種の増加）していますが、魚類の科学的なモニタリングがなされていないため、魚類相や資源量の変遷については漁獲統計から類推せざるを得ません。しかし、漁獲統計は、漁具の改良や社会情勢の変化などの影響を受けるため必ずしも資源量を反映しているとは限りません。そのため、漁業者の方の経験や直感を広くお聞きして、漁業資源の維持・発展と琵琶湖の環境改善に資する政策立案に資するものとしします。



## アンケートご協力のお願い

### 名称：琵琶湖漁業操業実態調査

琵琶湖河川事務所では、琵琶湖沿岸整備計画の見直しを行って  
います。その一環として平成 15 年度に琵琶湖沿岸におけるコイ・フナ  
類の産卵実態を把握するために現地調査を実施しました。

そこで琵琶湖を「生活の場」としている漁業者の皆様にも、操業実態・  
産卵生態・産卵（生育）環境などの現状や変化を聞くことにより、  
調査をより充実したものにしたいと考えております。

何卒、アンケートにご協力していただくようお願いいたします。

記

提出期限：平成 16 年 8 月 20 日

問合せ先：琵琶湖河川事務所 河川環境課 吉川

tel:077-546-0844

平成 16 年 8 月

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所

① 各組員（漁業従事者）からの聞き取りにおけるアンケート項目（案）

質 問 項 目

- 1) 魚が捕れなくなってきたのは何年頃からでしょうか？  
 ①1960年頃 ②1970年頃 ③1980年頃 ④1990年頃 ⑤2000年頃
- 2) その原因は何だと感じていますか？
- 3) 最も捕れた（あるいは琵琶湖で多かった）魚は何でしたか？

時代	1960年頃	1970年頃	1980年頃	1990年頃	2000年頃	現在
魚の種類						

- 4) ブラックバスはいつ頃から増え始めましたか？  
 ①1960年頃 ②1970年頃 ③1980年頃 ④1990年頃 ⑤2000年頃 ⑥現在
- 5) ブルーギルはいつ頃から増え始めましたか？  
 ①1960年頃 ②1970年頃 ③1980年頃 ④1990年頃 ⑤2000年頃 ⑥現在
- 6) 昔から減りもせず増えてもいない魚は何でしょうか？
- 7) 琵琶湖で捕れるフナ（ニゴロブナ、ゲンゴロウブナ、ヒワラ、それ以外）は何が多かったでしょうか？全体を10として教えてください。

（記入例）

時代	1960年頃	1970年頃	1980年頃	1990年頃	2000年頃	現在
ニゴロブナ	7	5	3	2	1	2
ゲンゴロウブナ	2	1	4	1	1	1
ヒワラ	1	3	2	6	6	5
それ以外		1	1	1	2	2

時代	1960年頃	1970年頃	1980年頃	1990年頃	2000年頃	現在
ニゴロブナ						
ゲンゴロウブナ						
ヒワラ						
それ以外						

8) コイやフナの産卵期は何月頃でしたか？月ごとに点数を記入してください。

- 産卵行動：とても多く産卵していた→◎  
 多く産卵していた →○  
 産卵していた →△  
 産卵していなかった →何も記入しない

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1960年頃												
1970年頃												
1980年頃												
1990年頃												
2000年頃												
現在												

9) コイやフナはどんな時に産卵にやってきますか？

- ① 雨の降る前  
 ② 雨の降っている最中  
 ③ 雨の降った後  
 ④ 水温が高くなったとき  
 ⑤ 水が濁ったとき  
 ⑥ その他：思い当たる事えお記入してください。  
 ( )

10) 水田にのぼってきたフナやナマズを見たことがありますか？あるいは捕まえたことがありますか？

11) あると答えた方、それは何年前でしょうか？

- ①1960年頃 ②1970年頃 ③1980年頃 ④1990年頃 ⑤2000年頃 ⑥現在

12) あなたの家の近所で、よく魚が産卵にくる場所がありますか？

もしよろしければ具体的にその場所を教えてください。かつてそういう場所があったということでもかまいません。

1 3) 答えられる範囲であなたのことを教えてください。

- ① 漁師になって何年くらいですか？ 年
- ② 所属漁協 漁協
- ③ どういった漁を専門に行っていますか？ ( )
- ④ 主にどこで漁をされていますか？ ( )

1 4) 資源保護を含めた琵琶湖の生態系を保全するためには、何がもっとも必要だと思いますか？ 日頃お考えになっていることがあればお聞かせください。

# 琵琶湖環境を改善するための意見交換会

日時：平成16年7月13日（火）16時～

場所：滋賀県水産試験場会議室

出席者：守山漁協：戸田さん

湖北朝日漁協：松岡正富さん・浦崎さん

沖島漁協：南幸則さん・西居政人さん・中村慎吾さん

中主漁協：水上さん・勝見さん

大津漁協：鶴飼広之さん

高島三和漁協：梅村恒明さん・斉藤秀和さん

国土交通省琵琶湖河川事務所：酒井副所長・佐久間河川環境課長・吉川河川環境課環境調整係長

## はじめに

戸田さん：

僕は国土交通省の水陸移行帯ワーキングに参加し、水辺のあり方についてどうしたらよいかという勉強会に出向しています。近年琵琶湖の環境が悪化している、と言われていきます。我々にとっては漁場環境の悪化がイコールと思えます。では具体的には琵琶湖の環境のどこがどのように悪化しているのかについて、また琵琶湖環境、漁場環境をどのように改善していったらよいのか、琵琶湖河川事務所では水質調査、調節により琵琶湖の環境により直接影響、卵の産卵状況、水位の調査、調節、操作が影響を与えている、と言われていくことから、これらについても調査をしています。この調査の一環として日頃琵琶湖と直接的つきあい、使わせて頂いてるんだけど、漁師のみんなにどのようなことを感じているか、ということをお聞かせをもらう絶好の機会としてこの場を設けています。今日は湖北の朝日漁協、高島三和漁協、沖島、中主、守山、大津の12名の面々がいるので、河川事務所の方から漁師の目で最近水辺についてどのような状況なのかについて聞いてもらうには絶好の場かなと思います。

## 意見交換会の進行について

戸田さん：

方法にKJ法という進行の仕方があります。みんなの忌憚のない、思っていること、感じていること全般に意見が交わせる、ものが言えるというような方法です。日頃琵琶湖環境、漁場環境についてどのように感じているのかについて、今の琵琶湖の良いところ、悪いところ、どんなところですか、ということをお付せん紙に書いてもらう。色はピンクと黄色があるんですけども黄色が良いところ、いっぱいあると思います。景色がいいとか、そんなものでもいいし、またここで漁業として生活ができることについて琵琶湖はすごい、そういうことがいっぱいあると思います。悪いところはピンクの方に、僕が思っていることは、最近の刺し網やえり網にしてもその汚れにしても見たことのない汚れだし、20～30年前から比べても水辺が大きく変わった、ということもあると思います。その原因が何か、ということについては同じ一次産業なのでいろいろ言いたくはないが、農業廃水によることも大きいのではないかと、ということもあると思います。工場や家庭雑廃水も問題だが、農業廃水も大きな問題だと思います。それはなぜでしょう、というところについては、高いところにある水を低いところに、また順送りの水を使わずに自分のところにきれいな水を入れて汚い水はポイ、というのも問題ではないか、という考えも僕はもっています。その問題を改善するためにはどうすればよいか、昔に戻れ、と言ってもなかなかできないこ



と思います。今僕が置いてある船のところまでリヤカーで引っ張って行け、と言われてもちよつとなあ、というのもあるし、そんなことをいろいろここに書いてもらえたら良いと思います。みんなが書いたピンクと黄色の付せん紙を貼りつけて、みんなで囲んで話をしようか、ということです。

## 琵琶湖のいいところについて

佐久間さん：

まず琵琶湖のいいところについて思いつくところを書いて頂ければと思います。1枚の紙にひとつということにして頂いて、多くても3枚くらいということをお願いします。

※（「琵琶湖のいいところ」記入中）

佐久間さん：

ここでご意見頂いたことについて、一言ずつ順番にご発言をお願いします。

松岡さん：意見「諏訪湖や霞ヶ浦のようなことにならない。きれい」「水の色が変わる。一年に何度か？」

琵琶湖にいるとかなり上下で激しい。ほんとにきれいなところは真っ青に近いもちろん見てても清々しい。あるときは水の変化が上と下とではすごい。例えば霞ヶ浦や諏訪湖と比べると変化すると言ったってたかが知れている。だけど雨が降ったりとかもちろん赤潮も出るけど、そのくらいまだ生きていくというのかな。という観点でお伝えしました。

中村さん：意見「魚がたくさんいる」

いろんな魚がいて四季を通じておいしい魚が食べられる。

戸田さん：意見「祖父から三代目の漁業をしている私がまだ漁業で生活出来ている。琵琶湖の懐の深さ」「沖から見る琵琶湖の景色は、陸から見るものより、まだまだ素晴らしいものである」

祖父から三代目の漁業をしている私がまだ漁業で生活できている琵琶湖の懐が深いんやな、というのがいいところです。もうひとつは沖から見る琵琶湖の景色は陸から見るものよりまだまだ素晴らしいものがある。

梅村さん：意見「景色がよい」

自然というカタ立が来てもザーッと来るのがわかるんですよ。普通の山とかやったらわからへんけど。水面走ってくるのがわかったり。日の出とか自然がまだね、きれいというか、そういうとこですね。

松岡さん：意見「自然がこわされないでまだ残っている所もある」

いろんな形でみんなの変化していく中で遅れたタイプの地域性もあるんで逆にいい部分が残っている。そんな中で急激に変化できない事情もあるけど、変化せんかったおかげで例えば身近なところで毎日同じように漁獲量は落ちたけど、同じ場所で比較的続けられている。このリズムを壊さなかったからうまくなっているのか逆に言うと変化したことがいいのか悪いのかわかりませんが、変化できなかったことがかろうじて琵琶湖と接してもらえる。そういう面ではスローで動いていく必要があったんかなと。急激にはついて行けなかった部分をスローで遅れた分だけかろうじて生きられたんかなと。だからまだスピードが速すぎるのかもしれないですね。変化さしていくには。そうでないと一緒にはやって

いけないかなと。あんじょうつきあう必要があるのかな、と思いました。

鵜飼さん：意見「思いやりをそそいでやれる湖」

思いやりを注いでやれない。そこにマザーレイクと書いたポスターが貼ってあったんでいい言葉やなあと思って書かしてもらったんですが。思いやりを注いでやれない。琵琶湖のために何ができるのかこれから良くするために何ができるのかということ私たちこれができるんじゃないか、いいことの方面に向けてできるんじゃないか、逆に反対語を書かせてもらったんですが、私たちの意見がなかなか通じない、琵琶湖に通じてくれない、いろんな意見があるんでその意見をまとめるには大変やなど、そういうつもりで書かせてもらいました。

斉藤さん：意見「他の地域とくらべて琵琶湖のおかげで滋賀は乾燥しにくい」「他県とくらべて四季の自然に恵まれている」

よく冬に天気予報とか見ると滋賀県だけなかなか乾燥注意報がでないんですね。やっぱり琵琶湖のおかげで乾燥がしにくいんちゃうかなと。そういうところと夏も冬も水鳥が舞うという、いいとこなんやなど。自分らが琵琶湖に出てる時はいろんな四季がわかる。ふつう会社員とか中で仕事をしてるとなかなか四季というものを感じられへんけども肌でわかるというのがええかなあと。

南さん：意見「空気がきれい」

空気がきれい。都会とかいけば車の排気ガスのおいがプーンとする。琵琶湖は寒い時は寒いし夏でもそんなに暑くないし。

勝見さん：意見「交通渋滞がない」

道、陸の上じゃなくて水の上というのは決まった道というのではないし、広い琵琶湖というのはどこでも走れる交通渋滞がないのがいいなど、あと琵琶湖という淡水の中にたくさん種類の魚が泳いでいるというのが一つの魅力かな、というところを琵琶湖のいいところにあげました。

水上さん：意見「マリンスポーツができる」

マリンスポーツができる。海水と違うので錆びないし。

佐久間さん：

ありがとうございます。思いつきでまとめてタイトルをつけてみます。まとめ方やタイトルは後ほどご議論して下さい。

- ・魚がたくさんいる
  - ・魚が生き残っている
  - ・多くの種類の魚が生息している
  - ・漁師も生き残っている
  - ・祖父から三代目の漁業をしている私がまだ漁業で生活出来ている。琵琶湖の懐の深さ
  - ・魚や鳥や動物など数多くの生物がたくさん身近に見られる
- これらを「魚の住む湖」としました。

- ・沖から見る琵琶湖の景色は陸から見るものよりまだまだ素晴らしいものである
- ・景色がよい
- ・他県と比べ四季の自然に恵まれている

- ・自然がこわされなくて残っている所もある
- ・自然のかたちの河川の河口がまだ2つある  
これらを「美しい景色のある湖」としました。

- ・思いやりを注いでやれる湖
- ・世界から見ても大切な淡水  
この2つはもう少し上のレベル、概念的な話になるんですけども、「偉大な湖」というタイトルがいいのかな、というふうに思いました。

- ・春夏秋冬がはっきりしている
- ・他の地域とくらべて琵琶湖のおかげで滋賀は乾燥しにくい
- ・空気がきれい  
これらを「生活しやすい湖」としました。

- ・交通渋滞がない
- ・マリンスポーツができる  
これらを「便利な湖」としました。

## 琵琶湖の悪いところについて

佐久間さん：

引き続き今度は琵琶湖の悪いところ。ここではですね、琵琶湖の悪いところを書いて頂いてそれは何か、というのも一緒にコメントとして書いて頂ければありがたいと思います。

戸田さん：

まずひとつ漁師であって、また河川事務所さんの方の主催されている会議委員としても両方出席させてもらっている者としてひとつ言っておかなければいけないことは、この意見交換会と一番最初に書いてある、これが間違いやとは思わへんけど、こういうふうなことを見てるで感じてるで、っていうような意見をみんなに述べたり書いたりしてるんやけど、そしたら「これが原因やからこれをこうしますね」という答えを出す場じゃないし、そこは理解して下さい。追ってもしかしたらアンケートみたいなものをやるやもしれませんけども、その時には進展するかもしれません。

今日の時点は「こういう風に感じてるで」「そうですか」っていうことでお願いします。

※（「琵琶湖の悪いところ」記入中）

梅村さん：意見「湖底の人工的なゴミが多い」「最近どんどん地形が変わっていく」

人工的なゴミが多い、ナイロンとか缶とか場所によっては固まっている。そんなことならみんな気をつけたらできることなんじゃないですかね。高島町のバイパスが付いてから白浜、あの辺の地形が全然変わってきたんです。場所がないところに砂が入ってきたりね。横江浜？ちゅうて在所があるんですけども、そこら全然砂がなかったのに土砂というか砂がいっぱいきたりとか地形が全然変わってきました。

南さん：意見「琵琶湖の底にはビニール袋がたくさんある」

底引きするとナイロン袋や空き缶が多い。アユがいなくなった。

齊藤さん：意見「下水道の処理した水は本当に大丈夫か」「不用意な工事をして水の流れが変わった」

新旭町の饗場の近くに下水処理場がありますね。あそこの魚は臭いから捕るなどという話があるんです。水を出してやれるところは2～3 km沖の琵琶湖の中なんです。きれいだったら川みたいにジャージャー流してやってもいいんじゃないかと。どういう水を流してはるんかなと。あと川もまっすぐきれいにして人間の腸みたいに蛇行していない。だからすぐ水が無くなってしまう。森林がない、というのもありますけども。ヨーロッパの方ではわざと蛇行させているというのもありますしね。僕自身、僕らのところは下水道がまだ通ってないんです。できることというのは生活排水というのももちろん琵琶湖に流れてしまいます。だから醤油とか汁というのをティッシュで拭いてから洗うようにはしている。些細なことですけど一回講演で聴いてそれを実行しています。

勝見さん：意見「湖底にヘドロが堆積している」「生態系が変化してきた。在来種の変化」

中主の組合が1回安曇川沖の100 mのところに潜水艇潜らせてモニター見せてもらったんやけど、その時一番深いところでヘドロがすごい量堆積してたのをモニターに出てたんです。そんな深いところでヘドロが溜まるんかと言うと、段々深いところに入っていったるんや、と専門の人は言っていたんやけど、何でヘドロが溜まるんかと、結局は水が滞留してないからちゃうんかと。水が滞留しないのは何でやと言うと、どうも冬に雪が降らなくなって、山に雪が降らないから冷たい水が安曇川に入ってこない、安曇川から流れてきた冷たい水が底に入って滞留させへん原因ちゃうんかなあと、じゃあ雪が何でたまらへんのか。地球温暖化？そこも問題になってるんじゃないかなあ、と思います。それと生態系が変化してしまっている、今までいなかった魚が入ってきて在来種がどんどん変化してしまった。というのが悪いところじゃないかなあと思います。

水上さん：意見「網がよごれる。昔はなかった」

水が汚い。えりとかの網もすぐ代えても1週間ももたない。ゴミも川から流れてくるものもある。どこから流れてくるのかわからないがゴミは多い。

中村さん：意見「水位の変動がある。船の乗り降りが困難な場合がある」

水位の変動でね、自分住んでるところは沖島なんですよ。沖島で生活するには絶対船に何かを陸から積んでいかんと。島というのは車とか通ってないので。そんなとき重たいものなど積んだり降ろしたりする時とか水位の変動があると大変危険な時もある。

戸田さん：意見「水の（水位の）変化がはげしすぎる」「刺網等、水中に仕掛ける漁具・漁網の汚れがひどく進行が止まらない」「農業廃水をとめてほしい」

人間の都合に人間は対応できても、対応できなかった魚類を筆頭に水生生物はいる。東南アジアの方のことわざで「水干せば虫が魚を食い、水増せば魚が虫を食う」っていうことわざがあるんやけど、まさに水の多いときは多くていいんじゃないか、水が少ないときは少なくてもいいんじゃないかと。そこまで戻れと言われたら戻りきれないと思うけど。あと琵琶湖の水中に仕掛けてる漁具、漁網の汚れというのは日ごとひどくなるばかりで全く汚れが止まるようなことが見あたらないし、どうなっているんかなと、それはもしかしたら同じ一次産業でありながら言いにくいんやけど、農業者の農業廃水。工場廃水、生活雑廃水あるけども農業廃水の影響が大きいんやないか。農繁期に琵琶湖に流れ込む目に付く水の色からして重要因と違うかなと思います。

松岡さん：意見「自然のリズムとちがうかたちがある」「昔は川は一年中通して流れていたもの」

今までのゆっくりした流れからすると30年くらいでここまで変化するか、というくらいに急激な変化があった。人間は対応してきたからそれでいいんでしょうけど、やっぱりついて行けんやつのことをあんじょうせんといかんから、どれひとつおかしいという感じにはなってしまうので、微妙に違うことをやっぱりしっかり掘り下げんと人間でいう許容できる範囲全部収まらない。あれだけ大きな川があって川に水が流れていないというには僕らはおかしいと思うんですよ。川は常時水が流れていないとおかしいのに、水が有るときは多いし、無いときはカラ、この辺もおかしいと思うし、これが常識になってしまう、琵琶湖の一番恐れるところ。その辺をしっかりと見ていかんとかいういろいろな変化が見えてこないかなあという気がします。

鵜飼さん：意見「思いやりをそそいでやれない湖」

先ほどと一緒になんですが、なかなか意見をまとめてシンポジウムとか水フォーラムとかあるんですけど、議論ばかり仕合って何にもしてないやないか、と。琵琶湖のために。そんな印象を受けるんですね。やっぱり動くとなれば何が伴うかということ、経済的なものが伴ってくるんでそれはやっぱり大変やな、と思います。

佐久間さん：

ありがとうございます。まずこれをまとめる前段として水位、人の身勝手なことによって汚されてるとか、不用意な開発が原因となっている、という直接的な原因と、魚が減ったとか昔にはない病気が出てきているなんかの生物のことについて別に並べました。なぜかということ、生物の変化は結局この原因があった結果、不幸な結果だと思うからです。整理するにあたって身勝手な行動・開発ということで、

- ・人間の勝手で適当にしている。好きなようにしている
- ・湖底の人工的なゴミが多い
- ・琵琶湖の底にはビニール袋がたくさんある
- ・水が汚くなっている。ゴミも多い。人間が見直していく
- ・昔は川は一年中通して流れていたもの。しかし河川工事をしたため大水がでて一週間くらいで水がなくなる

開発そのものが悪かったということで、

- ・砂が削られている（総合開発）
- ・最近どんどん地形が変わっていく
- ・農業廃水を止めてほしい

農業のためにしたということで人間の都合といえれば人間の都合かなと。

- ・不用意な工事をして水の流れが変わった

というのもそうであれば身勝手な行動かなと。人間にとっては身勝手ではないが、全部の生きているものにとっては身勝手ということでしょうか。

- ・干拓地が少なくなったため、汚い水が直通で琵琶湖に入る  
というのも同じところの原因かなと。あと、
- ・川などから濁り水がでる。田植えの時期などもそれに該当するんでしょうか。

あと水質の悪化という項目については、

- ・下水道の処理した水は本当に大丈夫か

水質が悪くなった、ということでのご意見かなと思います。

- ・ 網（ヘドロがつく）。管理されて排水に何かおかしいたぶん水質に関係することじゃないかと思います。
- ・ 湖底にヘドロが堆積しているという話も同じだと思います。
- ・ 網が汚れる。昔はなかった（「水質の悪化」へ）
- ・ 湖岸の石などにこけがつきやすくなった。船に船底塗料が必要になってきた（「水質の悪化」へ）
- ・ みんなが琵琶湖の利用の仕方を間違っているように思うというのは「身勝手な行動・開発」に入れさせていただきます。
- ・ 20年前から見て琵琶湖はダムみたいになった「ダムみたいになった」というのは水位の変動というイメージですかね。

齊藤さん：

人間の勝手（「身勝手な行動・開発」）ちゃうん？流したいとき流して溜めたいとき溜めているから「ダム」ちゃうん？

佐久間さん：

・ 昔の川は一年中通して流れていたもの。しかし河川工事をしたため大水がでて一週間くらいで水がなくなる（「身勝手な行動・開発」へ）

あと

- ・ 水の（水位の）変化が激しすぎるというご意見は人工的な水位変動という項目になるのではないかと。
- ・ 水位の変動がある。船の乗り降りが困難な場合がある
- ・ 自然のリズムとちがうかたちがあるこれは水位の変動ですか？

松岡さん：

水位だけではない。建物であり、湖岸であり、河口であり、一般のことも含めてです。

戸田さん：

僕がさっき言った「水があるときはある、ないときはない」でいいんちゃうか、という意見は水位ということちゃうかな。

佐久間さん：（「人工的な水位変動」へ）

・ 幼い頃の琵琶湖の水はおいしかった。今は見るだけで飲もうという気にならない（総合開発）

これは水質ですね。あとは、

- ・ 机の上の琵琶湖と実際（の琵琶湖）とホントはちがうということは言ってることとやってることが違うじゃないか、という話なんでしょうけど。
- ・ 思いやりをそそいでやれない湖上に出てきましてタイトルを・・・

あとその結果、生物の変化ということで、

- ・琵琶湖の魚の魚種が限られてきた。魚種が少なくなった
- ・貝類が少なくなった
- ・川に魚がいなくなった
- ・生態系が変化してきた。在来種の変化
- ・今まではいない魚も出現
- ・奇形の魚が最近多く見られる
- ・琵琶湖からの生物に急激な変化がある
- ・琵琶湖の水草の成長が早く大きくなった。昔はこんなに成長しなかった
- ・昔にはない病気が魚にでている
- ・シジミが小さく少なくなった  
というのがあって、これで生物の変化が、結果出ました。
- ・刺網等、水中に仕掛ける漁具、漁網の汚れがひどく進行が止まらない  
というのは水質が原因だと思います。
- ・琵琶湖の復元力が弱まった  
復元力が弱まったことということ自身は結果を受けて復元力が弱まったと思いますので、琵琶湖の生きる力の変化、というイメージ、というところに入って来るんだろうと思います。生物の変化というのも一元的なのかもわからないですけど。
- ・河川などの水のちから。琵琶湖の水のちからがなくなった  
というのいろいろ調節をすることによってなくなった、ということだと思っんで、琵琶湖の生きる力の変化に入れさせてもらいます。  
直接的な原因があって受けた結果がここにあるってということだろうな、というふうには考えられますので、そこはそういうふうにしたほうがいいかな、と思っています。

## どんな解決策があるか

佐久間さん：

いっぱい答えを頂きましたが、あと、ここにあげられたものを解決しようと思ったら、自分の力でエコロジーな生活でやるというのはもちろん誰しもやらなければならないことですが、なかなか難しいことですよ。その中で特にこんなことをやれば、下水の整備をやれ、とか何々をやれば、ということをお一人2つ黄色い紙に書いて頂きまして下に貼って、どの項目にあたるかわからないですけどやってみたいと思います。どんな解決策があるのか、ということを知りたいということをお願いしたいと思ってるんですけどもよろしいでしょうか。

※（「解決策」記入中）

今上がった項目は

- ・身勝手な行動、開発
  - ・水質の悪化
  - ・人工的な水位変動
  - ・琵琶湖の生きる力の変化
- です。

※（整理中）

## 解決策のまとめ

佐久間さん：

お聞きしたい点をまとめました。

身勝手な行動・開発については、

- ・常に琵琶湖を見つめ、（監視）自然を無視しない開発を
- ・コンクリートダムを廃止
- ・ヨシ地帯ばかりではなくヤナギと混在する地帯をつくる
- ・湖岸にある内湖と琵琶湖をできるだけつなげること
- ・必要以上に琵琶湖に人が手を加えない。自然のままにしておく
- ・雨が降れば川も湖も増やせばいい。雨が降らなければ湧けばいい。ダム化されてからの琵琶湖が何かおかしい。そのダムの上のダムは不必要
- ・河川の水はその元山の森に最大の能力を使え。山にお金を使え。河口にはコンクリートを使うな

水質の悪化については、

- ・人工的に汚れた問題は人工的（浄化装置）などを開発してほしい
- ・農業廃水を直接琵琶湖に流さず、再利用できるようにしてほしい
- ・農業用下水処理の整備
- ・各小さな河川の水門のところ浄化装置をつけて琵琶湖に流す
- ・農業排水は再利用も可能

人工的な水位変動については、

- ・琵琶湖の水位の変化を自然に任せる。急激に変えない
- ・増し水はいいが引き水はだめ。（水位安定）産卵の時（水位を落とすこと。昔から漁業者はそういうことを言っている。1cm引けばたくさん卵を産んでるので、ふ化しなくなる）

こちらの原因がこれの結果を引き起こして、それぞれの対策をしようという案と、あとそれをするために、

- ・琵琶湖にお金をかける（人件費）
- ・ということ、
- ・机の上と琵琶湖の実際とは違う

現場で起きたことが事実なんで、いくら机の上でやっても始まらないということだと思います。そういうことに気をつけて実際やっていけばよいでしょうという方法。方法を実行するための方法ということになったのかなと思います。

## さいごに

戸田さん：

一人の漁業者だけと違って琵琶湖一円みんなが集まってもらってるということで、やっぱりたくさん全般にわたって僕が考えも及ばないような意見もあったということで、これは河川事務所さんの方もこういう意見があるということ率直に受け止めて、これからの生物調査にも琵琶湖の管理者としての琵琶湖河川事務所のあり方についてよろしく願いたいと思います。

酒井さん：

どうも今日は朝早く漁業をやった後、こういう時間をとって頂きましてありがとうございます



いました。我々が気がつかないような意見がたくさん出ましたので、戸田先生とも一緒に水陸移行帯ワーキングに議論として反映していきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

琵琶湖のいいところ



琵琶湖の悪いところ (それはなぜでしょう)



# 琵琶湖環境を改善するための意見交換会

日時：平成16年7月13日 16時～

場所：滋賀県水産試験場会議室

## 1. 主旨説明

近年琵琶湖の環境が悪化したと言われています。

では、具体的には琵琶湖の環境のどこがどのように悪化したのか？

また、琵琶湖環境をどのように改善したらいいのか？

国土交通省琵琶湖河川事務所では、琵琶湖水位調節により琵琶湖の環境に直接的な影響を与えていることから、これらについて調査しています。

今回、その調査の一環として日頃琵琶湖と直接のお付き合いをなさっている漁業従事者の皆様がどのようなことを感じておられるのかをお聞きする機会を設けさせていただきました。

## 2. 生物調査について

現在、琵琶湖河川事務所で行っている魚類の生物調査についてご説明致します。

## 3. 意見交換会

皆様の日頃お感じになっておられる思いを教えてください。

- ① 今の琵琶湖のいいところ。悪いところ。
- ② 何が問題でしょうか？それは何故でしょうか？
- ③ その問題を改善するためにはどうしたらいいでしょうか？

### 【意見交換会の進行方法】

意見交換会は、参加者全員の意見を取り入れるため、意見を付箋紙に記入して簡単な発表を行って頂く形式を進めたいと思います。

また、話し合いを円滑に進めるためのルールとして、「知り合う」「リラックス」「つぶやく」「聞きあう」「批判しない」をお願いさせていただきます。

## 4. まとめ

# 琵琶湖の悪いところ（それはなぜでしょう）

## その要因は・・・

### 身勝手な行動・開発

人間の勝手に適当にしている好き放題にしている	砂がけずられている（総合開発）	干拓地が少なくなつたため汚い水が直通で琵琶湖に入る
湖底の人工的なゴミが多い	最近とんだん地形が変わって行く	川などからにがり水が出る 田植えの時期など
琵琶湖の底にはビニール袋がたくさんある	農業排水をとめてほしい	みんな琵琶湖の利用の仕方間違ってる様に思う、農業者も漁業者も次世代への責任感が薄く感じられる。
水をたたくなくなっているゴミも多い人間がみ重していく	不用意な工事をして水の流れが変わった	農業者も漁業者も次世代への責任感が薄く感じられる。レジャー者も使い放題の感が受けられる。
昔は川は一年中流れてたため大水がでも一週間くらいで水がなくなる	20年前から見ると琵琶湖はダムみたいになつた	

### 水質の悪化

下水道の処理した水は本当に大丈夫か（下水道工事）	網（ヘッドロフク）管理されて排水に向かおかし	網がよこれる言はなかつた
湖底にヘドロが堆積している	湖水を全体に底からひっくり返す	湖岸の石などこげつきやすくなつた 船に船底塗料が必要になつてきた
冬の気温を下げる温暖化をいとめる	刺網等、水中に仕掛ける漁具・漁網の汚れがひどく進行が止まらない	古い頃琵琶湖の水はきれいかつた。今は見るだけで軟らかいような気にならぬ（総合開発）
	農業排水が重要因と考える	

### 人工的な水位変動

水の（水位の）変化がはげしすぎる	水位の変動がある 船の乗り降りが困難な場合がある
	自然のリズムとちがうかたちがある

## 改善するためには・・・

河川の水はその元山の森に最大の能力をつかえ山に資金を使え 河口にはコンクリートを使うな	つねに琵琶湖を見つめ（監視）自然を無視しない開発を	コンクリートダムの廃止
必要以上に琵琶湖に入が手を加えない 自然のままにしてい	雨が降れば川も湖も増やせばいい。雨が降らなければ開け琵琶湖が向かおかしい。そのダムの上のダムは不必要。	ヨシ地帯ばかりでなくヤナギと混在する地帯をつくる
	湖岸にある内湖と琵琶湖を出来るだけつなげること	

人工的に汚れた問題は人工的（浄化装置）などを開発してほしい	農業排水を直接琵琶湖に流さず再利用できるようにしてほしい	農業排水は再利用も可能農業にはOK
各小さな河川の水門のところに浄化装置をつけて琵琶湖に流す（水質確保）	農業用下水処理の整備	

琵琶湖の水位の変化を自然に任せる 急激に変えない	増し水はいいが引き水はだめ（水位安定） 産卵の時
-----------------------------	-----------------------------

### 琵琶湖の生きる力の変化

川に魚がいなくなった	生態系が変化してきた（今までいない魚の出現） 在来種の変化
奇形の魚が最近多く見られる	琵琶湖の生物に急激な変化がある
琵琶湖の水草の成長が早く（大きくなった。昔はこんなに成長しなかつた）	昔にはない病気が魚にでている（農業排水）
琵琶湖の植元力が弱まった	シジミが小さく少なくなつた
河川など水のちから琵琶湖の水のちからがなくなった	思いやりをそそいでやれない湖
琵琶湖の魚の魚種が限られてきた 魚種が少なくなつた	かい類が少なくなつた

## そのためには・・・

琵琶湖に資金をかける（人件費）	湖の上の琵琶湖と実際（琵琶湖）とポイントちがう
-----------------	-------------------------

# 琵琶湖のいいところ

## 水のきれいな湖

諏訪湖や霞ヶ浦のようなことにならないきれいな湖

水の色が変わる一年に何度か？

## 魚の住む湖

魚がたくさんいる

魚が生き残っている

多くの種類の魚が生息している

漁師も生き残っている

祖父から三代目の漁業をしている私はまだ漁業で生活出来ている。琵琶湖の懐の深さ

魚や鳥や動物など数多くの生物がたくさん身近に見られる

## 美しい景色のある湖

沖から見る琵琶湖の景色は、陸からみるものより、まだまだ素晴らしいものである

景色がよい

他県とくらべて四季の自然に恵まれている

自然がこわされないでまだ残っている所もある

自然のかたちの河川の河口がまだ2つある

## 偉大な湖

世界から見ても大切な淡水

思いやりを、そそいでやれる湖

## 生活しやすい湖

春夏秋四季がはっきりしている

他の地域とくらべて琵琶湖のおかげで滋賀は乾燥しにくい

空気がきれい

## 便利な湖

交通渋滞がない

マリンスポーツができる